



傳設計ニュースレター

CONTENTS

- ◆今、伝えたいこと
～ワークシェア～
- ◆企業主導型保育園、
ぞくぞくと進行中
- ◆三池高校改築基本設計
ープロポーザル編ー
- ◆省エネ改修について考える
～株式会社カンサイ様
セミナー～
- ◆鹿児島支店開設
- ◆弊社の屋上を改修しました
- ◆内定式・次年度採用活動
- ◆社員名鑑
- ◆会社情報



今、伝えたいこと ~ワークシェア~

明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今年弊社が強化していきたい事業、“ワークシェア”についてお話ししたいと思います。これは、読んで字のごとく、ワーク(仕事)をシェア(共有)することです。「協働」と言い換えるとわかりやすいでしょうか。辞書には「同じ目的のために、対等の立場で協力して働くこと」とあります。

9年前の資料ですが、国土交通省住宅局建築指導課によりますと、事務所登録をしている一級、二級の建築士事務所は全国に約11万社もあり、コンビニ(約55,000軒)より多い数です。独立し、自分の力を発揮したいと考える若い建築士の気持ちは理解でき、この数になったのでしょうか。では、実績豊富な大きな事務所も若い小さな事務所もバランスよく仕事を得ているかという、それはそうでもありません。若く、小さくとも企画力、意匠性、技術力などで一芸に秀でる事務所はたくさんあります。しかし、そういった事務所でも、受注の際には、過去の実績として、建物の規模、用途まで求められることがあり、それらがないと受注が難しいのが現状です。私は、この厳しい現実を打開すべく、“ワークシェア”に取り組むことにいたしました。本来であればひとつの案件についてひとつの設計事務所が元請となり、仕事を完遂するところを、“ワークシェア”では元請となった事務所のほかに、一部委託先として、委託した複数の設計事務所が契約書に名を連ね、それぞれがその専門性、ノウハウを生かし、仕事を行っていきます。委託された事務所は、契約書に名を残すことができるため、次の受注の際に実績として証明書の作成ができます。これは、お客様にとっても、より専門性の高い事務所と契約でき、メリットになりますし、小さな事務所もさまざまな実績を作っていくことで、次の仕事につなげていくことができます。また、何かあった際の責任はその事業のトップに立つ、元請が負うことを明確にしているので、お客様にもご安心いただけます。弊社は昨年からの“ワークシェア”を始め、お客様からのご理解を得ながら、すでに2件が進んでいます。本年は、本事業により業界全体の活性化に寄与出来れば幸いです。(代表取締役 岩本茂美)



★謹賀新年★

岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

弊社には社長車はなく、私は社員と共用の車に乗っています。「社長はもっといい車に乗ったほうがいい。ポルシェがいいよ！」などと言われておりました。しかし、行き着いた先はやはり堅実な会社経営。どこかその気になっていただけに、残念な気持ちがあったり、なかったり…。



★愛用の社用車★

★企業主導型保育園、ぞくぞくと進行中★

これまで企業主導型保育園について、いくつかご紹介してきましたが、今年度の募集は落ち着き、現在は設計や工事の段階に入っています。私が担当しているその内の一つは、現在工事中です。思い返してみると、5月の公募に応募し、8月末に結果が出ましたが、補助金の関係で今年度中に開園する必要があったため、本当にあっという間でした。

今回は定員30名で、周辺の病院や福祉施設で働く方を対象とした、福岡の志免町の企業主導型保育園様をご紹介します。木造平屋建て、約300㎡の規模で、「ワンダー保育園」という名前は早い段階で決まっていた。保育園によって設計の方針はそれぞれありますが、今回特徴的だったのは、徹底した安全性でした。床は園児が転んでも大丈夫なようにクッション性の高いもの、角はコーナーガードを設置、外部は目線

や侵入防止のため背の高い目隠しフェンスを設置するなど、さまざまな検討を行いました。また、厨房機器の検討や厨房を園児たちが覗ける窓の設置など、給食に対するこだわりについても、検討を行いました。



★色彩等を模索中の外観イメージ★

あとは名前の通り「ワンダーな雰囲気」という要望もあり、現在は、予算の範囲内で色彩や看板等を模索中です。設計の立場としてはいろいろと悩みますが、悩みの数だけ設計のおもしろさも増しています！

この他にも改修、新築問わず、弊

社では数件の企業主導型保育園の設計や工事が進行中です。企業で働く保護者や、待機児童問題、そして何よりも子どもたちのために貢献したいと思います。(成尾)



★内観イメージ★

傳設計 設計業務

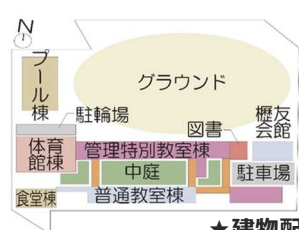
私は現在、福岡県大牟田市にある三池高校の大規模改築の基本設計業務を担当しています。これは3社JVで参加した福岡県のプロポーザルで選定されたものです。



★現在の三池高校★

本計画は、昭和30年代後期に建てられた校舎を、老朽化に伴い改築するもので、比較的新しい普通教室棟と同窓会館以外の建物が対象となり、平成38年度に全ての工事が終わる長期に亘る計画です。学校を運営しながらどのように建替えを行うかや、学校内だけでなく、敷地周辺の環境への配慮が求められました。

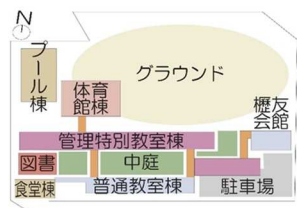
最終的な建物配置を考えた時、校内動線や管理、周辺への影響を考慮すると、現在の配置のままとした方が学校にとって良いのではないかと思いました。そうなると思いたいのは体育館の位置です。体育館ほど大きな建物は現状と同じ配置とはできないため、位置を模索しました。メインの西門に寄せてゲートウェイとする案や同窓会館のある東側に配置する案もありましたが、最終的には工事計画や周辺への影響、運動エリアを明確にできることを考え、グラウンド側への配置とすることで落ち着きました。あとは特別教室棟を



★中庭イメージ★

複数回に分けて解体・新設を行い、一体感のある配置を提案しました。

まだ書きたいことはあるのですが、長文になるので、この辺りで。現在は福岡県や学校の要望も加え、プランも再検討しています。学校関係者はもちろん、周辺住民にも喜んでもらえる設計を目指します。(成尾)



★建物配置(左:現状 右:改築後)★

★三池高校改築基本設計—プロポーザル編—★

★省エネ改修について考える～株式会社カンサイ様セミナー～★

環境保全が叫ばれる昨今、省エネや節約を意識的に行っている方も多いのではないでしょうか。建物の価値を決める上で、求められる3大性能として、「耐震」「省エネ」「長持ち」がありますが、近年「省エネ」について大きな動きがあるようです。2017年4月1日より住宅の省エネルギー性能に関する歴史的な法改正が施行され、2020年から家の省エネルギー性能に対して最低限度の基準をクリアすることが義務付けられます。

そんな中、株式会社カンサイ様主催の「快適環境情報セミナー」に参加させていただき、エネルギーマネジメントシステムについてご紹介いただきました。これは、消費電力の見える化による省エネと電気料金の縮減ができる！というものです。「見えて何がいの？」「気持ちの問題？」と思っていましたが、これが電気料金の縮減に大きく関わることを知りました。

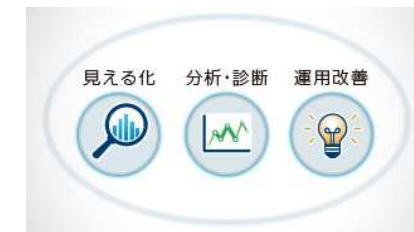


★Emanageパンフレット★

電気の基本料金の算定方法は前年最大月の使用電力をベースに算定されます。過去1年間30分毎に測

定された使用電力値により最大需用電力が決まります。つまり、1年間で、1回でも同時に30分間電力を使いすぎるとその金額がベースとなるのです。1kWで年間1.7万円も違うそうです。消費電力の見える化は環境だけでなく、お財布にもやさしいということになります。

また、建材の断熱・遮熱性の進化等、新しい技術が次々に開発されています。初期投資に費用はかかりますが、今後の時代を見据え、この期に省エネ改修による建物のグレードアップを考えてみてはいかがでしょうか？(深堀)



NEW&HOT TOPIX

この度、弊社では業務拡張に伴い、鹿児島支店を開設しました。鹿児島大学近くの騎射場(きしゃば)に事務所を構え、11月1日より業務を開始しています。社員は設計2部に所属していました、私、中里が一人で常駐しています。



★1階(写真左側)が事務所★

実は鹿児島大学の出身の私。卒業以来、約12年半振りに鹿児島へ戻ってきたこととなります。この辺りの街並みは変わりましたが、学生時代に

よく通っていたお店はまだあり、当時は懐かしく思い出しています。



★打合せスペース★

さて、鹿児島支店に移ってからというもの、設計以外の業務、例えば営業や総務などの業務も一人で対応しており、想像以上に大変な日々です。今までは周りの人たちに助けられていたのだと感じています。

鹿児島支店はスタートしたばかりで、皆様にご報告できる事案はまだないのですが、近いうちにこのニュースレターでご報告できればと

思っています。

鹿児島支店は市電でもバスでも騎射場より徒歩1分です。近くにお越しの際はぜひお気軽にお立ち寄りください。(鹿児島支店 中里)

◆鹿児島支店◆
〒890-0054 鹿児島市荒田2丁目74番10号 ポヌール和楽102号室
TEL:099-813-8057
FAX:099-813-8058



★協力会社様、鹿児島大学の先生方・学生さんをお招きしてお披露目パーティ★

★鹿児島支店開設★

★弊社の屋上を改修しました★

以前、ブログでもご紹介しておりました、弊社の屋上の改修についてお話ししたいと思います。

屋上はもともと緑化していましたが、経年劣化により手摺りがぐらついたり、芝生が枯れたりしていたため、木下緑化建設株式会社様に設計から工事までをお願いし、全面的な改修を行いました。

完成の際に、担当者の方から、月毎の芝生の手入れの仕方について教えていただきました。例



★改修後の屋上★

えば、生えてくる雑草と芝刈りのタイミングや芝生のかかりやすい病気と対策、更新作業といったものです。しかし、更新作業の「サッチング」や「エアレーション」は、文字を見ただけでは作業内容が分からないものもあり、ネットで調べたり、先輩方に聞いたりして理解を深めているところです。

さて、現在の芝生の手入れの状況ですが、一週間に1回程度の水撒きをというアドバイスを参考に、数回の水撒きを行いました。まだ手入れの成果が目に見えて分かる時期ではないので、順調に芝生が育っているのか不安もありますが、3年後にきれいな芝生が生えるよう、丁寧に手入れをしていきたいと思いません。(土井)

社員名鑑 vol.25

社歴:2年9ヶ月
所属:設計1部
主な業務:意匠設計
趣味:ボルダリング

先日28歳となり、着々とお腹廻りの脂肪層の肥大化と、腹筋ブロックラインの消失が進んでいます…涙。

建築を志し、弊社に勤めてもうすぐ3年が経ちます。まだまだ、未熟者で、さまざまな方のお力添えにより物件を進めている状況です。ものづくりに関わる者として、大切な要素のひとつに、自分の感性を磨くことがあると思います。そこで、プライベートで空想の建築を描いています。イメージを絵として、紙に落としこむとたくさんの発見があります。気づけば、いつも妖怪が住んでいそうな家を描いていました。実際の設計でそんな一人よがりの提案は出来ませんが(笑)。設計者として、どうあるべきか？なにが出来るか？考え続けていきたいと思いません。



★内定式・次年度採用活動★

10月某日、平成30年度入社の内定式を行いました。4月より、意匠3名、構造1名が入社いたします。4名ともまた個性豊かな面々で、人事としては今から4月が楽しみです。若い社員の多い会社ですが、切磋琢磨しながら成長していく様子を見守っていききたいと思います。



★内定式の様子★

さて、もうすでに来年度入社採用活動の準備も始めつつあります。近年、売り手市場となっている採用環境で、大手志向の学生さんが多く、その中で弊社は頑張っております。しかし、どんなご時世であっても、それぞれ学生さんが本当にやりたいことができる職に就いてほしい、せつかく建築を志して勉強してきているのだから、貫いてほしいと思います。弊社としても、“傳設計だからこそ”できることに共感してくれる学生さんと出会いたいです。“傳設計だからこそ”とは…説明会でたっぷりお話いたしますので、ぜひHPよりお問合せをお待ちしております！(澤田)



★内定式後の若手懇親会★

◆ 編集後記／／／明けておめでとう
◆ ございます。昨年弊社は、グループ会社が一社増えたり、鹿児島に支店を出したり、何かと話題に事欠かなかった一年でした。そして今年も慌ただしくそんな予感です。‘coming soon’としか申せませんが、変わらずお付き合いいただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。／アンケートを同封しています。ニュースレターへのご意見、ご感想をFAXでぜひお送りください。／澤田



「想い・安全・未来をカタチに」

株式会社 傳設計

DEN ARCH. & ENG. OFFICE

<本社>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-1-15

TEL:092-672-8538 FAX:092-672-8559

<サテライトオフィス>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-12-41 302

TEL:092-692-4555 FAX:092-672-8559

